

氏名 (法人にあっては名称)	株式会社グローバルエンジニアリング
住所	福岡県福岡市東区香椎1-1-1

自社等発電所(*1)の有無	有		
電気事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自家用発電設備販売、メンテナンス事業</li> <li>・デマンドリスポンス事業 調整力(類型2)、ネガワット取引(類型1)を実施</li> <li>・エネルギー管理システム導入促進事業 BEMSアグリゲーター、エネルギーマネジメント事業者として登録</li> <li>・新電力事業 小売電気事業者としての電力卸・小売供給事業</li> <li>・発電事業 九州地域に石油火力発電所(1,000kW)を保有し、太陽光発電を2015年4月より調達</li> <li>・社会実証事業 経済産業省が実施するバーチャルパワープラント構築実証事業への参画</li> </ul>		
電気の供給における温室効果ガスの排出の抑制等に関する推進体制	CO <sub>2</sub> 排出係数の低い再生可能エネルギーの導入を拡大するとともに、Jクレジット創出を促す導入の提案及び事業の協力を図ります。技術部及び営業部を中心に地球温暖化対策を推進しています。また代表BGとして地球温暖化対策に配慮した電源調達に努めています。		
電気の供給における温室効果ガスの排出の量の抑制に関する措置及び目標	年 度	実排出係数(*2)	調整後排出係数(*3)
	前年度実績(2019年度)	0.400 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	0.562 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)
	当年度目標(2020年度)	0.400 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	0.550 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)
	短期目標(2025年度)	0.380 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	0.500 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)
	長期目標(2035年度)	0.300 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	0.400 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)
	(目標に係る措置の考え方)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギーを利用した発電所(水力発電所・バイオマス発電所等)からの電源を調達するよう努めます。</li> <li>・太陽光発電からの安定した電源の積極的な導入を図ります。</li> </ul>		

\*1 自社等発電所とは、自己が所有する発電所及び経営支配下においている子会社が所有する発電所をいう。  
 \*2 実排出係数とは、市内への電気の供給に伴う二酸化炭素排出量(実二酸化炭素排出量)を市内への電気の供給量(電気供給量)で除したものをいう。  
 \*3 調整後排出係数とは、実二酸化炭素排出量から償却前移転した京都メカニズムクレジット等を控除したものを、電気供給量で除したものをいう。

電気の供給における再生可能エネルギーの利用の拡大に関する措置及び目標	自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量の割合の拡大に関する措置及び目標		
	年 度	再生可能エネルギー発電量(*4)	再生可能エネルギー導入率(*5)
	前年度実績 (2019年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	当年度目標 (2020年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	短期目標 (2025年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	長期目標 (2035年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	(目標に係る措置の内容)		
自社で発電所を所有する予定はありません。			
電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置及び目標	調達分を含む再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する措置及び目標		
	年 度	環境価値の確保量(*6)	環境価値の確保率(*7)
	前年度実績 (2019年度)	173 (千kWh)	7.59 (%)
	当年度目標 (2020年度)	221 (千kWh)	9.70 (%)
	短期目標 (2025年度)	341 (千kWh)	15.00 (%)
	長期目標 (2035年度)	569 (千kWh)	25.00 (%)
	(目標に係る措置の内容)		
府内の2019年FIT切れの太陽光発電導入の準備を進め、積極的な導入を継続し、Jクレジットまた非化石証書の購入も進めます。			
電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置及び目標	電源調達先となる各事業者には未利用エネルギーについてヒアリングを行い、経済合理性を図りながら、利用拡大に努めます。		
火力発電所における熱効率の向上を図るための措置及び目標	・ 日常点検を通じて、早期に異常を発見し対応を実施します。		
本市の区域内に存する電気の需用者に対する地球温暖化の防止に資する取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 需要家はインターネットを通じてエネルギー使用量の見える化が可能となっています。省エネ意識の向上を目指し、利用価値の高いシステム開発を実施しています。</li> <li>・ 積極的な省エネ・CO2削減に取り組むための情報提供をしています。</li> </ul>		
その他の地球温暖化の防止に貢献する取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 需要家の省エネ・CO2削減などの課題を解決するため、エネルギーマネジメントシステムの活用や総合的な提案を継続して実施しています。</li> <li>・ 全社員が節電アクションに積極的に取り組んでいます。</li> </ul>		

\*4 再生可能エネルギー発電量とは、自社等発電所における再生可能エネルギー（太陽光、風力その他非化石エネルギーのうち、エネルギーとして永続的に使用することができるもの）による発電量のうち市内分をいう。

\*5 再生可能エネルギー導入率とは、上記の発電量を自社等発電所における発電量のうち市内分で除したものをいう。

\*6 環境価値の確保量とは、自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量、他の一般電気事業者等の発電所における再生可能エネルギーによって発電された電気の購入量及び購入した環境価値の量を合算したもののうち市内分をいう。

\*7 環境価値の確保率とは、上記の確保量を電気の供給量のうち市内分で除したものをいう。

\*8 未利用エネルギーとは、発電に利用するエネルギーのうち、工場の廃熱又は排圧、廃棄物（バイオマスを除く）の燃焼熱、超高圧地中送電線からの廃熱、変電所の廃熱及び高炉ガスその他の副生ガス等のエネルギーをいう。